

Audi Q8 S-Line

55TFSI quattro

ROWENのイメージを再構築するアウディの最上級SUV

私たち ROWEN と言えば、国産車ではスバル、輸入車ではアウディというイメージを持たれている方も多いかと思えます。スバル同様、質実剛健なクルマ作りに定評があり、それでいて国産車にはないクールなイメージを併せ持つアウディは弊社代表も代々愛し、何台も所有してきたメイクス。それだけに思い入れが強く、数々のトライ&エラーを繰り返して開発してきたボディキットの数々はどれも高い評価を得てきました。

Q8 はそんなアウディのフラッグシップと言うべき大型 SUV。アウディ自身が「SUV クーペ」と表現するように、SUV の悪路走破性を備えつつ、クーペのように仕上げられたスタイリッシュなデザインが特徴です。アウディならではの、しかも Q8 にのみ備わる魅力を底上げすべく、私たちはリップスポイラータイプとして Q8 quattro S-Line 用ボディキットを開発しました。

フロントスポイラーは Q8 本来のインパクトの大きさを強調し、さらに精悍さを増すものに。SUV であることを加味し、下方向へのボリュームアップは実質的にゼロ。使い勝手を犠牲にすることは一切ありません。

もちろん各部に ROWEN らしいデザインテイストも盛り込みました。

フロントに対してリアはインパクトに欠けると判断し、リアアンダーディフューザーにはダブルディフューザー形状を採用。大幅に迫力を増すデザインに仕上げました。クールなテールライトや ROWEN 製リアアンダーディフューザーと相まってリアの印象を決定付けるのがリアゲートスポイラーです。レクサス LC500 で人気を博しているトランクスポイラー同様、複雑な面構成の 3D デザインを取り入れ、ROWEN のアイデンティティを体現する形状としました。

敢えてインパクトを抑え、大仰に振舞わないのもアウディの魅力でしょう。ただし、この Q8 はたださえボディサイズが大きいモデル。サイドから見た時にどうしても間延びした印象を受けます。そこで開発したのがフロントフェンダーエクステンションです。サイド部の印象をガラリと変えながら、純正のプレスラインを取り入れることで違和感ないサイドビューを構築します。

なお、この Q8 で培ったデザインノウハウを近日中に発表するランボルギーニ・ウルス用ボディキットにも踏襲。

さらにレクサス・ニュー LX、メルセデス・ベンツ G クラス、マセラティ・レヴァンテ（後期モデル）といった SUV 用ボディキットも続々開発予定です。



 **ROWEN**
<http://www.rowen.co.jp>



Audi

Q8 S-Line



55TFSI quattro



EXTERIOR

区分	コード	パーツ名	材質
A+C+E+G+I	1A012X00	スタイルキット I	FRP (素地)
B+D+F+H+J	1A012X10	スタイルキット II	FRP+Wet Carbon (素地)
A	1A012A00	フロントスポイラー	FRP (素地)
B	1A012A10	フロントスポイラー	FRP+Wet Carbon (素地)
C	1A012E00	フロントフェンダーエクステンション	FRP (素地)
D	1A012E10	フロントフェンダーエクステンション	FRP+Wet Carbon (素地)
E	1A012J00	サイドディフューザー	FRP (素地)
F	1A012J10	サイドディフューザー	FRP+Wet Carbon (素地)
G	1A012P00	リアアンダーディフューザー	FRP (素地)
H	1A012P10	リアアンダーディフューザー	FRP+Wet Carbon (素地)
I	1A012T00	リアゲートスポイラー	FRP (素地)
J	1A012T10	リアゲートスポイラー	FRP+Wet Carbon (素地)

BODY KIT SIZE 1 フロントスポイラー/フロントフェンダー-EXT/リアディフューザー

Front	Side	Rear
下 (↓) 方向15mm 前 (←) 方向30mm 張出 (⇔) 20mm	張出 (⇔) 方向15mm	下 (↓) 方向35mm 後 (→) 方向35mm 張出 (⇔) 10mm

WHEEL&TIRE SIZE 1

	Brand	商品名	Size	Color
WHEEL	SAVINI	SV88	F:24×10J+10 R:24×10J+10	
TIRE	SAVINI	SV88	F:24×10J+10 R:24×10J+10	



商品詳細・価格など、詳しい情報は
ROWEN Official websiteをご覧ください。

